

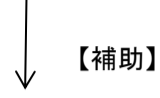
平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)								
事業名	へき地歯科巡回診療車運営事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和45年度～		担当課室	歯科保健課		課長：上條英之		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常医療圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成22年5月20日医政発0520第九「第十一次へき地保健医療計画等の策定について」				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	無歯科医地区及び無歯科医地区に準ずる地区(以下、「無歯科医地区等」という。)に対し巡回診療を行い、へき地における住民の歯科医療の確保。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	無歯科医地区等において、地方公共団体等が行う巡回診療車の運営等に必要な経費に対する財政支援を行う。 補助対象経費：報酬、給料、賃金、旅費、報償費、需用費等 補助率：1/2(国1/2、都道府県1/2)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位：百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	/					
		繰越し等	/					
		計	6	4	4	4	3	
	執行額	2	2	2	/			
	執行率(%)	25.0%	37.5%	37.5%	/			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	へき地における無歯科医地区数		成果実績	数	16	16	集計中	-
			達成度	%	-	-	-	/
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	受診患者数		活動実績(当初見込み)	人	666	753	集計中	-
					(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	集計中(円/人)		算出根拠	24年度執行額/24年度受診患者数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	医療施設等運営費補助金	4	3	派遣回数削減				
	計	4	3					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 必 要 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	当該事業は無歯科医地区等における歯科医療の確保を目的として、安心した歯科医療環境の確保のため国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	民間等に委ねた場合、実施されない可能性がある。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	当該事業は無歯科医地区等における歯科医療の確保を目的とし、安心した歯科医療環境の確保のため優先度の高い事業である。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	交付要綱において補助対象経費、補助率(1/2)を定め、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	事業実施に必要な経費のみを補助対象としており、コスト水準は妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	各都道府県から事業計画書に必要経費を記載させ、執行にあたり真に必要な経費のみに限定している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	過去3年間は、鹿児島県と栃木県の2県からの申請であったため、予算限度額申請に至らなかった。		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点 検 結 果	当該事業は無歯科医地区等における歯科医療の確保を目的とし、安心した歯科医療環境の確保のため事業実施に必要な予算を確保している。本事業は過去3年間は鹿児島県と栃木県から申請があり事業を実施しており、執行状況等を踏まえ、事業の内容・規模・予算額等について改善していく点がある場合には、的確に反映してまいりたい。					
	外部有識者の所見					
全国2県のみしか申請がなく、予算執行率も低く、国が事業を行う必要性は低い。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事 業 内 容 の 改 善	へき地歯科巡回診療車運営事業については、事後の検証・効果を踏まえた見直しの観点から、活動実績、事業効果を検証し予算を縮減すべき。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮 減	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、予算額の縮減を行うため、離島への派遣回数の見直し(42回→18回)を行った。今後も、適正な予算額の確保や執行に努めて参りたい。					
	○提言型政策仕分け 平成23年11月22日 事業番号: B5-2 社会保障: 医療サービスの機能強化と効率化・重点化 提言(とりまとめ): 国民・地域のニーズを具体的に把握して、診療報酬の改定を行うべき。その中で、勤務医と開業医、また診療科間について、リスクや勤務時間に応じて報酬配分を大胆に見直す。また、医師不足改善のため、勤務医と開業医とのアンバランスや地域別・診療科別の医師不足の状況を踏まえて、メリハリの利いた診療報酬改定を早急に行うべき。また、中長期的には、開業医と勤務医の収入をバランスさせることを目指し、開業医・勤務医の平準化を進める。また、医療サービスの価格全体の前提となる診療報酬本体(医師の person 費等)については、「据え置く」6名、「抑制」3名という意見があったことを重く受け止めて対応されたい。加えて、中長期的な検討課題として提案された地域・診療科間の偏在の解消など、医師不足の問題に対応する医療供給体制の在り方について、社会保障審議会で検討の上、行政刷新会議に報告されたい。また、診療報酬の加算が効果的に待遇改善につながるよう、勤務条件が厳しい診療科を中心に待遇改善につながる条件付けを行うべき。					
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	35	平成23年	0030	平成24年	031

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 1.5百万円

〔 地方公共団体等が行う、巡回歯科
診療の運営費に対する補助。 〕



A 都道府県(2) 1.5百万円

〔 巡回歯科診療の実施。 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.鹿児島県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	事業を実施する歯科医師の給与	0.81			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鹿児島県	へき地における巡回歯科診療	0.81		
2	栃木県	へき地における巡回歯科診療	0.74		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					